



羽合小学校 学校通信

平成26年7月17日 NO, 63

夏休みが始まります

先日、職員室で家庭科の調理実習について話をしていた時のことです。

調理実習では、材料や手順などを示したレシピに基づいて作業を進めるのですが、近年、レシピだけではなかなか作業が進まない子どもたちが増えてきているのだそうです。「映像をテレビで流したりしないと、具体的にどのようにしたらよいのか分からないようだ」とのことでしたので私は「技術の進歩はめざましいので、いずれ3Dで立体的に手本を示していくことができる時代が来るかもしれないですね」と話してふと考えました。お家で家族の方と一緒に料理をする経験があれば、わざわざ学校で3Dを示さなくてもいいのではないかなあ・・・。

昔の子どもたちが文書（レシピ）を読み取る力が優れていて、今の子どもたちが劣っているとは思いません。作業を進めるにあたって、**経験の中にお家の方の姿が3Dで残っているかどうか**だと思うのですがいかがでしょうか。子どもたちは食事を作る手伝いをしていますでしょうか。

また、調理実習で、テーブルを台ふきで拭くこともあります。きつく絞った台ふきを4つに畳んで、すみずみまでてきぱきと拭くことのできる子どもたちもいる一方で、ゆるく絞った台ふきを握って、テーブルを丸く拭いている姿もあるとのことでした。

学年や年齢によってできる事やできないことがあります。その発達段階に応じて適切な手伝いをさせることは子どもたちにとって大切な学習になります。家庭にとっても、子どもたちが手伝ってくれることで助かりますし、子どもたちをほめる場面を作ることにもなります。子どもたちがすることですから、大人がするようにきれいで能率よくというわけにはいかないかも知れません。しかし、**夏休み、子どもたちにはたくさんの時間があります。**やってみせて、やらせて、ほめる絶好の時だと思います。保護者の皆さん、**お手数をおかけしますがよろしくお願いします。**

もうひとつ、ごはんを食べるとき、わたしたち大人は箸でご飯をまとめながら食べています。ところが給食の時間に子どもたちの食器を見ていると、器のまわりにご飯粒がいっぱいくっついていきます。食器やご飯だけのせいではなく食べ方の問題もあるのかなあと思います。くっついたご飯は、もったいないとばかりになめちゃう子どもたちもいて、かわいらしいのですが、やっぱり少しずつ食べ方も身に付けさせていきたいなあと考えています。保護者の皆さんは、子どもたちが夏休みといえどもお忙しくて申し訳ありませんが、子どもたちは比較的時間に追われない夏休みです。「できるといいな」という事にも挑戦させてやりたいものです。

【御礼】

明日は終業式、夏休みの始まりです。学校通信にお付き合いいただき、ありがとうございました。子どもたちが始業式に元気な顔で登校して来るのを心待ちにしています。 羽合小学校 寺谷英則